

# 1月から認定品表示 高い品質・安全性の証

自走式駐車場  
工業会



大臣認定品表示板を持つ  
飯島理事長

日本自走式駐車場工業会（飯島登美夫理事長）は、2018年1月から認定品表示板制度を開始する。加盟メーカー企業16社が設計・施工し国土交通大臣認定を受けた自走式立体駐車場に、「安全・安心」の証」として1月以降に建築主に引き渡す案件から、駐車場利用者らに見えやすい

場所に表示板を掲示する。認定駐車場は、構造の安全性や防災性の内容について、国の厳しい審査を受け、国の厳しい審査を受け、国土交通大臣による耐火建築物の認定を受けると同時に、構造耐力や防災避難、維持管理などに関する同工業会の自主基準にも沿った安全・安心な建物であり、①柱・梁（はり）などの鉄骨に耐火被覆を必要としない②緩和措置を受けて消化設備を簡易なものにできる③原則、外壁を設けない開放さ

れた構造で地震や津波に強い④工期短縮⑤コスト圧縮——などのメリットがあるという。11日に会見した飯島理事長は「東日本大震災では、津波からの避難施設としての役割も果たした。予測される南海トラフ地震に対しても効果が期待できる」とし、「高い安全性と優れた品質を身近に感じてもらうことで、自走式認定駐車場の社会的認知度の向上と普及を図りたい」と語った。